大学・高専機能強化支援事業（支援１：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和5年度	学校コード	F102310100630	設置等組織名	総合情報学部 総合情報学科、先進工学部 先進工学科、デザイン工学部 デザイン工学科
大学名	八戸工業大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	青森	事業計画名	成長分野への転換に向けた学部新設計画

１.年度別の計画及び取組状況

年度別の事業計画と取組状況、自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組は赤字で記載し、計画変更の承認を受けた計画については、末尾に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間	事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
令和5年度	1-①令和5年11月　学部学科構成・学部学科名称等の仮決定 1-②令和5年11月　各学科の育成すべき人材像と3ポリシーの決定 1-③令和6年1月　キャンパス内建築調査 1-④令和5年12月　デジタル分野の人材育成に関する産官学連携組織の構築 1-⑤令和6年1月　八戸市・八戸商工会議所との中心街キャンパス移転に関する検討会設置 1-⑥令和6年1月　八戸産官学連携推進会議での構想の説明と意見交換 令和5年～7年度のフェーズ１期間に以下の学生確保の取組を実施 令和5年10月～現在　STEAM教育や文理融合カリキュラムの研究・導入 令和5年9月～現在　HITリケジュLABOの活性化	1-①令和5年9月　改組に係る将来計画委員会発足 1-①令和5年11月　改組後の学部数を2学部に変更を検討 1-②令和5年10月　各検討事項に関する部会の発足 1-③令和6年1月　キャンパス内建築調査 1-④令和6年2月　青森県DX推進プラン参画 1-⑤令和6年1月　中心街キャンパス整備に向けた協議を実施 1-⑥令和6年1月　八戸産官学連携推進会議での構想の説明と意見交換 令和5年度～7年度のフェーズ１期間に以下の学生確保の取組を実施 →令和5年10月～現在　STEAM教育や文理融合カリキュラムの研究・導入 →令和5年9月～現在　HITリケジュLABOの活性化：JST探択事業として活動を臨在化させ、中高生への啓発活動を主に活性化	令和5年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和6年度	1-①令和5年11月　学部学科構成・学部学科名称等の仮決定 1-⑦令和6年4月　キャンパスの計画・設計 1-⑧令和6年11月　入学者選抜方法の基本設計の検討 1-⑩令和7年2月　カリキュラム基本設計 令和5年～7年度のフェーズ１期間に以下の学生確保の取組を実施 令和5年10月～現在　STEAM教育や文理融合カリキュラムの研究・導入 令和5年9月～現在　HITリケジュLABOの活性化 令和6年4月～現在　留学生獲得の検討 令和6年9月～現在　通信教育課程の導入検討	1-①令和6年7月　学科名称等の仮決定 1-①令和6年11月　改組後の学部数を3学部に変更を検討 1-①令和7年2月　大学・学部等名称のイメージアンケートを高校生・在学生を対象に実施 1-①令和7年3月　学部学科名称等の決定 1-⑦令和6年4月　キャンパス構想案の作成 1-⑧令和6年11月入学者選抜方法の基本設計の検討 1-⑩令和7年2月　各学科の育成すべき人物像と3ポリシーの決定 令和5年度～7年度のフェーズ１期間に以下の学生確保の取組を実施 →令和5年10月～現在　STEAM教育や文理融合カリキュラムの研究・導入 →令和5年9月～現在　HITリケジュLABOの活性化：JST探択事業として活動を臨在化させ、中高生への啓発活動を主に活性化 →令和6年4月～現在　留学生獲得の検討：特定技能実習取得のビジネスモデルを継続 →令和6年9月～現在　通信教育課程の導入検討：通信教育課程について他大学の調査及び本学での需要について検討	令和6年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和7年度	1-⑨令和7年2月　JAMSTECやQSTなど連携教育について協議 1-⑪令和8年3月　カリキュラム詳細設計・確定 1-⑫令和8年3月　入学者選抜方法の詳細設計・決定 1-⑬令和8年3月　文科省事前相談 令和5年～7年度のフェーズ１期間に以下の学生確保の取組を実施 令和5年10月～現在　STEAM教育や文理融合カリキュラムの研究・導入 令和5年9月～現在　HITリケジュLABOの活性化 令和6年4月～現在　留学生獲得の検討 令和6年9月～現在　通信教育課程の導入検討 令和7年3月　履修証明プログラムの拡充	1-⑨令和7年9月　JAMSTECなど連携教育について協議 1-⑪令和7年4月　カリキュラム詳細設計・確定 1-⑫令和7年4月　入学者選抜補法の詳細設計・決定 1-⑬令和7年6月　文科省事前相談資料提出（1回目） 1-⑬令和7年10月　需要性調査アンケートの実施（高等学校・企業） 1-⑬令和8年1月　文科省事前相談資料提出（2回目） 令和5年度～7年度のフェーズ１期間に以下の学生確保の取組を実施 →令和5年10月～現在　STEAM教育や文理融合カリキュラムの研究・導入 →令和5年9月～現在　HITリケジュLABOの活性化：JST探択事業として活動を臨在化させ、中高生への啓発活動を主に活性化 →令和6年4月～現在　留学生獲得の検討：特定技能実習取得のビジネスモデルを継続 →令和6年9月～現在　通信教育課程の導入検討：通信教育課程について他大学の調査及び本学での需要について検討 →令和7年3月～現在　履修証明プログラムの拡充：HIT機械工学基礎プログラムを新たに設置 【改組内容】 令和8年3月改組後の学部数の変更に伴う変更届を提出、令和8年4月承認	令和7年度自己評価	【３】計画を十分に実施している。
令和8年度	2-①令和8年3月　教育内容：文部科学省手続き 2-②令和8年11月　学習環境：施設設備の充実 2-③令和8年12月　教育プログラムの確立：外部機関との連携等 2-④令和8年4月から継続　学生確保の取組：募集広報・学生募集活動、取組の継続		令和8年度自己評価	リストから選択してください。
令和9年度	3-①各年度　　カリキュラム計画に則った教育の実施 3-②各年度8月、1月　授業評価アンケートとティーチングポートフォリオによる科目レベルの点検・改善 3-③各年度8月、1月　ディプロマポリシー（修得因子）に基づく達成度評価 3-④外部テストおよび卒業生の就職先企業のアンケート調査等の実施によるプログラムレベル（カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）の点検・改善 3-⑤各年度4月　　学生の満足度調査および学生から意見を取り入れる仕組み等により学修内容・環境の点検・改善 3-⑥各年度8月、1月　ラーニングポートフォリオによる学生の学修活動の記録 3-⑦各年度8月、1月　学びのPDCAサイクルの展開 3-⑧各年度4月～　デジタル分野・グリーン分野をターゲットにしたキャリアデザインの実施 3-⑨各年度3月　　インターンシップの計画・充実および就職等の進路開拓 3-⑩各年度2月　　外部機関による事業評価 3-⑪令和9年～継続　通信教育課程の導入の検討など		令和9年度自己評価	リストから選択してください。
令和10年度	3-①各年度　　カリキュラム計画に則った教育の実施 3-②各年度8月、1月　授業評価アンケートとティーチングポートフォリオによる科目レベルの点検・改善 3-③各年度8月、1月　ディプロマポリシー（修得因子）に基づく達成度評価 3-④外部テストおよび卒業生の就職先企業のアンケート調査等の実施によるプログラムレベル（カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）の点検・改善 3-⑤各年度4月　　学生の満足度調査および学生から意見を取り入れる仕組み等により学修内容・環境の点検・改善 3-⑥各年度8月、1月　ラーニングポートフォリオによる学生の学修活動の記録 3-⑦各年度8月、1月　学びのPDCAサイクルの展開 3-⑧各年度4月～　デジタル分野・グリーン分野をターゲットにしたキャリアデザインの実施 3-⑨各年度3月　　インターンシップの計画・充実および就職等の進路開拓 3-⑩各年度2月　　外部機関による事業評価 3-⑪令和9年～継続　通信教育課程の導入の検討など		令和10年度自己評価	リストから選択してください。
令和11年度	3-①各年度　　カリキュラム計画に則った教育の実施 3-②各年度8月、1月　授業評価アンケートとティーチングポートフォリオによる科目レベルの点検・改善 3-③各年度8月、1月　ディプロマポリシー（修得因子）に基づく達成度評価 3-④外部テストおよび卒業生の就職先企業のアンケート調査等の実施によるプログラムレベル（カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）の点検・改善 3-⑤各年度4月　　学生の満足度調査および学生から意見を取り入れる仕組み等により学修内容・環境の点検・改善 3-⑥各年度8月、1月　ラーニングポートフォリオによる学生の学修活動の記録 3-⑦各年度8月、1月　学びのPDCAサイクルの展開 3-⑧各年度4月～　デジタル分野・グリーン分野をターゲットにしたキャリアデザインの実施 3-⑨各年度3月　　インターンシップの計画・充実および就職等の進路開拓 3-⑩各年度2月　　外部機関による事業評価 3-⑪令和9年～継続　通信教育課程の導入の検討など		令和11年度自己評価	リストから選択してください。
令和12年度	3-①各年度　　カリキュラム計画に則った教育の実施 3-②各年度8月、1月　授業評価アンケートとティーチングポートフォリオによる科目レベルの点検・改善 3-③各年度8月、1月　ディプロマポリシー（修得因子）に基づく達成度評価 3-④外部テストおよび卒業生の就職先企業のアンケート調査等の実施によるプログラムレベル（カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー）の点検・改善 3-⑤各年度4月　　学生の満足度調査および学生から意見を取り入れる仕組み等により学修内容・環境の点検・改善 3-⑥各年度8月、1月　ラーニングポートフォリオによる学生の学修活動の記録 3-⑦各年度8月、1月　学びのPDCAサイクルの展開 3-⑧各年度4月～　デジタル分野・グリーン分野をターゲットにしたキャリアデザインの実施 3-⑨各年度3月　　インターンシップの計画・充実および就職等の進路開拓 3-⑩各年度2月　　外部機関による事業評価 3-⑪令和9年～継続　通信教育課程の導入の検討など		令和12年度自己評価	リストから選択してください。
令和13年度			令和13年度自己評価	リストから選択してください。
令和14年度			令和14年度自己評価	リストから選択してください。
認可申請 又は届出	令和8年4月　総合情報部総合情報科　学部学科の設置届出予定 令和8年4月　先進工学部先進工学科　学部学科の設置届出予定 令和8年4月　デザイン工学部デザイン工学科　学部学科の設置届出予定	令和8年4月　総合情報部総合情報科　学部学科の設置届出予定 令和8年4月　先進工学部先進工学科　学部学科の設置届出予定 令和8年4月　デザイン工学部デザイン工学科　学部学科の設置届出予定		
定員減又は 学部等の廃止				

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	八戸工業大学

2.申請資格の確認

ⅰ） 学生募集停止中の大学
ⅱ） 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学
ⅲ） 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学
ⅳ） 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学
ⅴ） 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第２条第１号又は第２号のいずれかに該当する者が設置する大学

上記項目の申請資格の状況について、プルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目に該当していない、右の○の項目に該当している）

申請資格の状況	ⅰ）	ⅱ）	ⅲ）	ⅳ）	ⅴ）
右の○の項目に該当している	○	○	○	○	○

3.申請要件の取組状況

① 高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第８号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。

② 十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。

③ 産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化，体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。

④ 特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。

⑤ 計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。

⑥ 特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。

⑦-1 社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。

⑦-2 学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。

⑧ 入学定員が20名以上増加する計画であること。

⑨ 事業計画の選定があった日から４年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）

⑩ 大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。

⑪ フェーズ３の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去５年間の中央値３年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。

⑫ 計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。

⑬ 選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和５年４月13日文部科学大臣認可）六（２）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。

⑭ 文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。

上記項目の①～⑬の申請要件について、　令和7年度　の取組の状況についてプルダウンで選択してください。（プルダウンの選択肢：すべての項目が要件を満たしている、右の○の項目の要件を満たしていない）

申請要件の状況	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦-1	⑦-2	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬
右の○の要件を満たしていない	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

①～⑬の要件を満たしていない又は対象ではない項目がある場合、左欄に該当する申請要件を選択し、右欄に課題（理由）とその対応について記載してください。

項目	課題（理由）

⑭については、現在の状況をプルダウンより選択してください。

申請要件⑭について	現在の状況
⑭文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。	認定を受けておらず申請する意向もない

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和7年度　の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）

■ チェック　a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
■ チェック　b.関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施
□ チェック　c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施： 2017年度より建築・土木工学分野においては，八戸市・(株)まちづくり八戸と連携して，八戸市中心市街地の課題解決提案を検討する授業を実施している。毎年度末には八戸市長に学生がプレゼンしており，この授業での提案が基本構想となって実現した事業もある。また，デザイン分野においては，これまで多くの企業の依頼を受けて学生がデザイン提案を行う授業を実践してきた。これらの実績を元に，各分野において，企業や自治体と連携したPBL等の取組を充実させる。なお，八戸産学官連携推進会議においては，令和4年度から高等教育機関４校の学生が受講できる講義「八戸地域学」を共同開講している。これはPBL科目ではないが，連携を通した教育の代表例である。関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施：たとえば，カーボンニュートラルの実現のためにはカーボンクレジット等の制度設計が重要であるなど，グリーン社会実現のためには経済や経営等の知見が必要な場合も多い。八戸学院大学は，経営学や経済学に強みを持つ大学であり，連携した教育体制を協議したい。	企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施：八戸産学官連携推進会議において、岩手県立北桜高等学校や青森県立三沢商業高等学校の教育機関におけるDX化への実際の取組状況と課題点を聞き、それに対する協議を行い、学習におけるAIの活用方法や活用する上での課題などを広く9%%した。 関連分野に強みを持つ地域の他大学と連携した科目の整備・実施：カーボンニュートラルの実現のために高校や各分野の企業（日本原燃㈱、東北電力㈱等）の方々とともに協議会を開き、実現に向けた話し合いや取組状況について、またその課題についての協議を行った。	

【B：多様な入学者の確保に向けた取組】

■ チェック　a.入学者選抜における科目の見直し
■ チェック　b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
■ チェック　c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
■ チェック　d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
■ チェック　e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
学科・分野再編や文理融合を行うので，アドミッションポリシーを見直す必要がある。これに伴って科目等についても見直す予定である。HITリケジョLABOの活動の活性化を図る。また，情報デザイン学科を八戸市中心市街地に移転することで，デジタル分野において女子学生増を目指したい。既に，出張講義・大学見学・総合的な学習の時間の支援など，初等中等教育との連携活動も多く行っている。現在，特に，総合的学習に対する大学のリソースの提供方法や支援・連携強化について検討を進めている。令和5年度は3プログラムの履修証明プログラムを青森県内3箇所で実施予定であり，今後さらに充実させていく予定である。また，社会人学生の受け入れに向けた学事歴の柔軟化やリモート授業の検討などもフェース１では実施予定である。令和5年度より，留学生の受入れ強化に向けて検討を開始した。生活面での支援などについては，市内他の高等教育機関や行政機関の協力等も必要なので，八戸産学官連携推進会議においても検討を進める。	女子学生の確保のために令和7年度から「指定校制女子特別枠」を設け、理系女子の育成を教科している。八戸中心街へのキャンパス移設については キャンパスを移すことより既存施設の利便性、並びに実用性の充実を目指した施設改修を優先することとし、フェーズ2での着工に向けて改修案を詰めている。八戸中心街にキャンパスを移設する代案として、令和3年から継続している番町サテライトキャンパス（通称：ばんらぼ）で市民向けの公開講座を開講し、入学者増加に向けた認知度の向上に努めている。令和5年度から力を入れている留学生の受け入れは、高等教育機関や行政機関（八戸市）と協力して産学官で連携しつつ継続を行っている。	

様式１－３

フォローアップ対象年度	令和7年度	大学名	八戸工業大学

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

年度	区分	指摘事項等	対応状況

大学名	八戸工業大学

１.本事業対象となる学部等の状況

<合計>

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	300	-	-	-															
		編入学定員	人	0	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	八戸工業大学

本事業対象となる学部等の個数	3

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

(1)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	総合情報工学部　総合情報工学科（工学関係）

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
改組状況				選定			届出	開設			完成年度											
大区分	小区分	項目	単位																			
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	-	-	-															
		編入学定員	人	0	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

大学名	八戸工業大学

(2)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	先進工学部　先進工学科（工学関係）

大区分	小区分	年度 / 改組状況 / 項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度 届出	R9年度 開設	R10年度	R11年度	R12年度 完成年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	-	-	-															
		編入学定員	人	0	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

１.本事業対象となる学部等の状況

＜内訳＞

大学名	八戸工業大学

(3)

改組内容	学部の新設（当該大学が授与する学位の分野の変更を伴わないもの）
学部学科名	デザイン工学部　デザイン工学科（工学関係）

大区分	小区分	年度 / 改組状況 / 項目	単位	R5年度 選定	R6年度	R7年度	R8年度 届出	R9年度 開設	R10年度	R11年度	R12年度 完成年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
	事業計画に定める定員	入学定員	人	100	-	-	-															
		編入学定員	人	0	-	-	-															
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	-	-	-	-															
		入学者数(B)	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
		入学定員充足率（B/A）	倍	-	-	-	-															
	収容定員等	収容定員(C)	人	-	-	-	-															
		編入学定員	人	-	-	-	-															
		在籍者数(D)	人	-	-	-	-															
		編入学者数	人	-	-	-	-															
		収容定員充足率（D/C）	倍	-	-	-	-															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	-	-	-	-															
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	-	-	-	-															
		授業科目の単位数	単位	-	-	-	-															

大学名	八戸工業大学

２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況

年度				R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	300	300	300	300															
		入学者数	人	190	185	215	212															
		女子学生数	人	29	33	46	52															
		社会人学生数	人	1	0	0	0															
		留学生数	人	1	0	1	0															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
		女子学生数	人	-	-	-	-															
		社会人学生数	人	-	-	-	-															
		留学生数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	300	300	300	300															
		入学者数(B)	人	190	185	215	212															
		女子学生数	人	29	33	46	52															
		社会人学生数	人	1	0	0	0															
		留学生数	人	1	0	1	0															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.63	0.62	0.72	0.71															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1,200	1,200	1,200	1,200															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1,025	911	874	774															
		編入学者数	人	5	3	2	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.85	0.76	0.73	0.65															
卒業後の状況	卒業者数	卒業者数	人	261	248	241																
教員の状況	実務経験のある教員の参画	教員数	人	90	84	70	67															
		授業科目の単位数	単位	250	250	250	250															

大学名	八戸工業大学

３.大学（学士課程）の状況

大区分	小区分	項目	単位	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度
学生の入学･在籍状況	春季入学	入学定員	人	300	300	300	300															
		入学者数	人	190	185	215	212															
	その他の学期	入学定員	人	-	-	-	-															
		入学者数	人	-	-	-	-															
	入学者合計	入学定員(A)	人	300	300	300	300															
		入学者数(B)	人	190	185	215	212															
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.63	0.62	0.72	0.71															
	収容定員等	収容定員(C)	人	1200	1200	1200	1200															
		編入学定員	人	0	0	0	0															
		在籍者数(D)	人	1025	911	874	774															
		編入学者数	人	5	3	2	1															
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.85	0.76	0.73	0.65															

４.外部資金の状況（全学）

年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度
改組状況	申請−5年	申請−4年	申請−3年	申請−2年	申請−1年	選定							完成年度						
項目 / 単位																			
外部資金獲得額 / 千円	51,088	58,196	53,269	61,064	90,342	107,290	75,913	34,710											

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均（過去5年間における各年度の外部資金	千円	62,792
本事業による助成金の額(F)	千円	793,998
フェーズ３の助成期間終了時までに達成する額(E+F×2.5%)	千円	82,642

特記事項

「２.理･工･農学分野の学位を授与できる学部等（学士課程）の状況」並びに「３.大学（学士課程）の状況」の編入学定員0人とは、若干名を意味している。